



◆紀の国わかやま総文2021 開催に向けカウントダウン◆

—総文祭生徒企画委員として耐久生が活躍—

7月31日から8月6日までの日程で、高校生最大の芸術文化の祭典、全国高等学校総合文化祭（紀の国わかやま総文2021）が、「届けよう和の心 若葉が奏でるハーモニー」をテーマに県内各会場で開催されます。4月23日（金）には、開催99日前を迎え、カウントダウンが始まり、耐久高校でも、教室棟1階にカウントダウンパネルを設置しました。本校からは、総文祭生徒企画委員として8名の生徒が、紀の国わかやま総文2021の運営に参画しています。

写真は、1年生の時から、生徒企画委員として活躍している3年生の池永実優さんと増田凜さんです。



◆高校総体壮行会◆

—2年越しの総体に向けて、決意新たに—

5月18日（火）中間考査終了後、生徒全員が中庭を囲んで集合し、高校総体県大会出場選手の壮行会を行いました。昨年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、例年どおりの高校総体は中止となったので、2年ぶりの壮行会になりました。感染予防のため、3年生のクラブ員のみがユニフォーム姿で中庭に整列し、全校生徒が周りの校舎のローカ等から、拍手をおくり激励しました。放送演劇部が司会を行い、合唱部の歌う校歌が爽やかに中庭に響く中、壮行会が始まりました。校長先生と生徒会代表 川瀬翠優さんの激励の挨拶を受け、各クラブ

員は2年越しの総体に向け、決意を新たにしてくれたことと思います。これまでの練習の成果を存分に発揮し、活躍してくれることを期待しています。



◆クラスマッチ～3年生編◆

—感染症対策を講じて、学年別で実施—



昨年度実施できなかったクラスマッチを、密を避けるため、学年別で、また種目

によっては、マスクを着用して実施しました。当初は、5月19日～21日の3日間での学年別実施の予定でしたが、3日間とも残念ながら雨で実施できず、予備日の24日（月）に3年生のクラ



スマッチを行うことができました。どの競技においても、生徒は一生懸命に取り組み、笑顔があふれ、生き生きとしていました。高校生活の思い出に残る一日になったと考えます。

